

## 《新企画：顧問税理士のコラム その6》 2016年（丙申）の動向 ～まとめ編～ 陽の時代における身の処し方

菊川税務会計事務所  
全部協顧問税理士 菊川 慶規

新しい企画として、旧プライムニュース2月号から顧問税理士のコラムを設けています。11月号の「2016年（丙申）の動向 ～企業編～」に続き、陰陽五行論で今年のビジネスを取り巻く環境について論じて頂きます。今回はその最終回となります。（注：原稿は1月20日に受け付けています。）



菊川顧問税理士

2016年は陽の時代に入って5年目です。陰陽論では、陰は太陰でお月様の意味で夜を意味します。これに対して陽は太陽の意味で昼を意味します。この時代は年々未来が明るくなってきます。時代が明るくなるとはいえ、何も準備も努力もしなければ運気は良くなりません。そこで更に幸せになるためには、次のような事を心がける必要があります。まず、第一に人から『ありがとう』と言われる存在となること。運気を高める事の出来ない人は自分勝手な人です。そのような人は一時的には成功しても必ず最後は悲惨な運命となります。それを避けるには、人に尽くし、人から感謝される人になる事です。また人から『ありがとう』と言われる企業になったら、その企業は成功します。

二つ目は、過去を後悔せず、未来を憂えず、今に集中する事です。運の悪い人は過去をクヨクヨ後悔する人です。過去への反省は必要ですが、過去の事象は変えられません。どうにもならない事にクヨクヨしては、未来は開けません。その一方で、どうなるか分からない未来を心配して憂いても、時間の無駄です。諸行無常、諸法無我です。過去や未来を考える時間があれば、いするべき事に集中すべきです。

三つ目は、一所懸命で日々を生きる事です。今日、生き切ったら死んでいいと云うくらいの覚悟で、この刹那を大切に日々を生きる事です。

四つ目は、自分は必ず守られていると思う事です。誰でも自分を守ってくれる守護霊がついています。運の悪い人は守護霊の存在に気付かず、この世には神も仏もないと泣き言を言う人です。運の良い人は自分には守護霊がついていて、必ず守られているから何があっても大丈夫と思える人です。つまり自分を守って下さる守護霊に感謝をする人です。

五つ目は、笑う門には福来る、を実践している人です。この言葉を知らない人は、少ないでしょう。しかし辛い時に笑顔でいる人が何人いるでしょうか。苦しい時に苦しい顔をする事は簡単です。また楽しい時に、楽しい笑顔をするのも簡単です。簡単な事をしていては、幸せにはなれません。辛い時、苦しい時、とても笑えない時にこそ、笑顔を見せると自分の気の変化し、オーラを放ち、周囲の空気を変えて、自分の運気が高まるのです。NK細胞<sup>※</sup>も笑いから発生すると、パッチアダムス医師も提唱しています。陰陽五行論の簡易法は実に簡単です。特別に寺や山にこもる必要はありません。しかしこの簡単な事を出来ない人が、実に多いのです。真理は単純さの中にあります。他の人ができない単純、簡単な事をする事で、他の人以上の幸運を得られるのです。 おわり

※ NK細胞：ナチュラルキラー細胞。自然免疫の主要因子として働く細胞傷害性リンパ球の1種。生まれつき（natural）の細胞傷害性細胞（killer cell）という意味で名付けられた。